

「破れ目に立つ祈り」

(詩篇85篇)

牧師：原 雅幸

序) パズルのピースを回すように

- ・この詩篇 85 篇は私たちの信仰人生の中で、どこにはまるのだろうか。
- ・150 の詩篇は、私たちの健全な信仰にとってどれも必要なはず。この詩篇を必要とするような信仰の姿勢を取れているか。

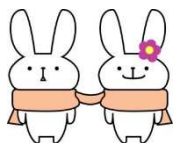
1) 詩篇 85 篇の最初の状況と「私たち」

- ・詩篇 85 篇は、バビロン捕囚から戻ってきたユダヤ人が、祖国の現状を目の当たりにして祈った祈り。帰って来ても、繁栄とは程遠い状態。神の怒りが続いているように思えた。
- ・1 節～3 節の時制：英語や他の日本語訳では過去形でやくされているが、新改訳 2017 は時間の中にはなく、神のご性質に位置づける訳出。
- ・ユダヤ人たちの祈りの必要性は理解できるが、新約の民にとって、この祈りは位置づけられるのか(必要なのか) →ローマ 5:9、I テサロニケ 5:9
- ・十字架によって神の怒りは過ぎ去り、神の笑みが私たちのものになっているのではないか。

2) 「私たち」をどこまで含むのか

- ・「私たちへの御怒りをやめてください」の「私たち」は誰までを含むのか。
- 最初の状況では、ユダヤ人全体が心に入れられていた。そこには信仰の程度に差があった。御怒りの原因と思える人が見受けられた。その人々を内に含んで「私たち」と祈っている。詩人個人「私」はゆるされていること「平和」をいただいていることを知っている。

→詩篇 85 篇は、十字架のみ救いをまだ受けていない方々と連帯して(その人々を内に含んで)、神の前に出る祈りである。



3) 単数形の「私」に求められていること

- ・「(私に) 聞かせてください。主である神の仰せを」…私が御言葉を聴くのは、誰のためなのか。私の周りにいる人たちが悔い改めに導かれるために、私自身がみことばに従い、幸いを得、きよめられる必要がある。

結) 破れ目を結び合わせるために

- ・恵みを示せば、まこと(誠実)が失われる(愛が甘やかしに変わるとき)ことや、平和を追求して正義が曲げられる(事なかれ主義)ということが起こる世の破れ目をひとつにするのが十字架。

名前(_____)

◆お話を聞きながら、答えを考えましょう。

① 神さまが怒るのは、どうしてでしょうか。(わたしたちの怒りと同じかな?)



② イエス様を信じる時、神さまの怒りはどうなりますか。

信仰によって (ただし、神さまとの関係がまっすぐ)と認められるの

で、神の怒りから

雷が自分に落ちないように、かわりに避雷針に落ちるのに似ていますね。

◆お話を聞いた後で、考えましょう。

* あなたは、主の祈りで「わたくしたち」と祈るとき、誰のことまでを思い浮かべますか。

* 怒りを恐れて、正しいことをする、悪いことをしないという考え方について、どう思いますか。

～教会クイズ(教理問答)～

みんなで一週間
考えてみよう!

Q024 イエスさまが「わたくしたちの主」であるとは、どういうことですか。

A024 イエスさまは、わたしたちが唯一信頼する

であり、わたしたちはその だということです。

